

飯島陣屋だより

No. 7
1997.1

発行／飯島町歴史民俗資料館

〒399-37長野県上伊那郡飯島町飯島2309-1

☎0265-86-4212



おばけの不思議な話を上演



ふすまの下から陣屋役人の名前が...

ふるさとトピックス

平成8年7月～12月

こどものための二つの企画
お話し会 (図書館主催)
八月一日、飯島こどもの本の会が、語りやパネルシアターで上演。雰囲気満点の夜の陣屋で、大勢の子供たちが背筋をぞくぞくさせたことでしょう。

むかしの生活体験
(中央公民館主催)
一月二三日、公民館「創造力にチャレンジ」講座で、小学生五人が昔の生活体験をしました。雨戸をしめきつた真つ暗闇の陣



かまどで「おつみり」をつくる

屋の中を「がんばり」などの明かりを持って探検したあと、陣屋で機織りを習いました。料理体験では、昔飯島近辺では「おつみり」と言っていた「すいとん」を作り、焼いたもちには味噌を塗って、昔の味を楽しみました。

ふすまの下から陣屋役人の名前が...

下張り文書
寄贈いただいた古い「ふすま」をはがし、下張りに使われている古文書を調査しています。



「代官行列」展

10月1日から12月26日まで開催されました。
陣屋館では、「飯島町の歴史と文化」展が催されました。

休館日 (平成9年)

※○が休館日です

1月	2月	3月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
4月	5月	6月
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

各種サークル活動に記念館を利用できます

飯島陣屋記念館は、学習会や会議などに使うことができます。お気軽にお申し込みください。

○使用できるのは、記念館の座敷(十六畳)です。

○使用料
午前九時～正午 二〇〇円
午後一時～午後五時 三〇〇円
午前九時～午後五時 五〇〇円
※営利または営業のために使用する場合は四倍の額。



伊南の博物館 仲間をよろしく!



講演会のようす

江戸幕府が直接支配した領地が「天領」です。天領は政治や軍事上の重要な地域にあり、総石高は四〇〇万石にも及びました。これから収納する年貢は、幕府にとって最大の財政基盤になっていました。
本書は、このような江戸幕府の天領支配について、学界の権威がわかりやすく概説した冊子です。

『江戸幕府の天領』

飯島陣屋ブックレット第3弾、村上直著

体裁 A5判、三二ページ
頒布価格 三〇〇円
送本もできます(送料別)。



村上直先生 (法政大学教授) を招いて
西沢淳男先生 (法政大学講師) 講演会
開催!



西沢先生



村上先生

平成八年九月二三日、飯島陣屋本陣で、「代官・陣屋・天領」と題した講演会が開催され、会場いっぱいの約七〇名が聴講しました。講師は、法政大学の村上直先生と西沢淳男先生で、両先生は、それぞれ執筆してくださった「飯島

陣屋ブックレット」の内容に添って、より具体的にわかりやすく解説してくださいました。初めに西沢先生から、「陣屋の役人」についてお話しいただき、代官の風評などが記された『よしの冊子』などによって、飯島をはじめ信濃の代官の実像が紹介されました。

続いて、村上先生が「江戸幕府の天領と飯島陣屋」の演題で講演されました。先生は、全国の天領陣屋を歩かれた見地から、飯島陣屋だけでなく、全国の天領について説明されました。

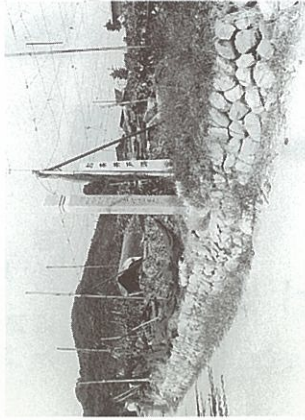
会場の陣屋本陣には、昔なら代官が座っていた書院に演台が設けられ、聴衆は書院に続く次の間・御用場であぐらをかいて、講演に耳を傾けていました。



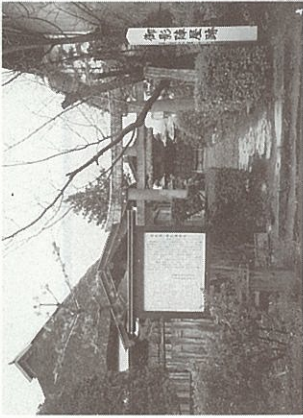
中野・中野陣屋・県庁記念館
近くに稲荷や井戸も残る。



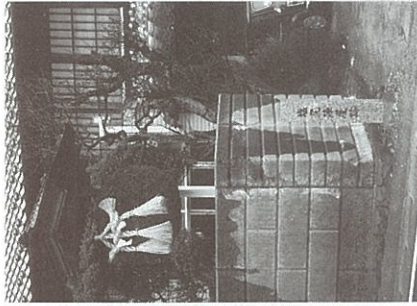
中之条/陣屋小路
手前が門付近。つきあたりが北国街道。



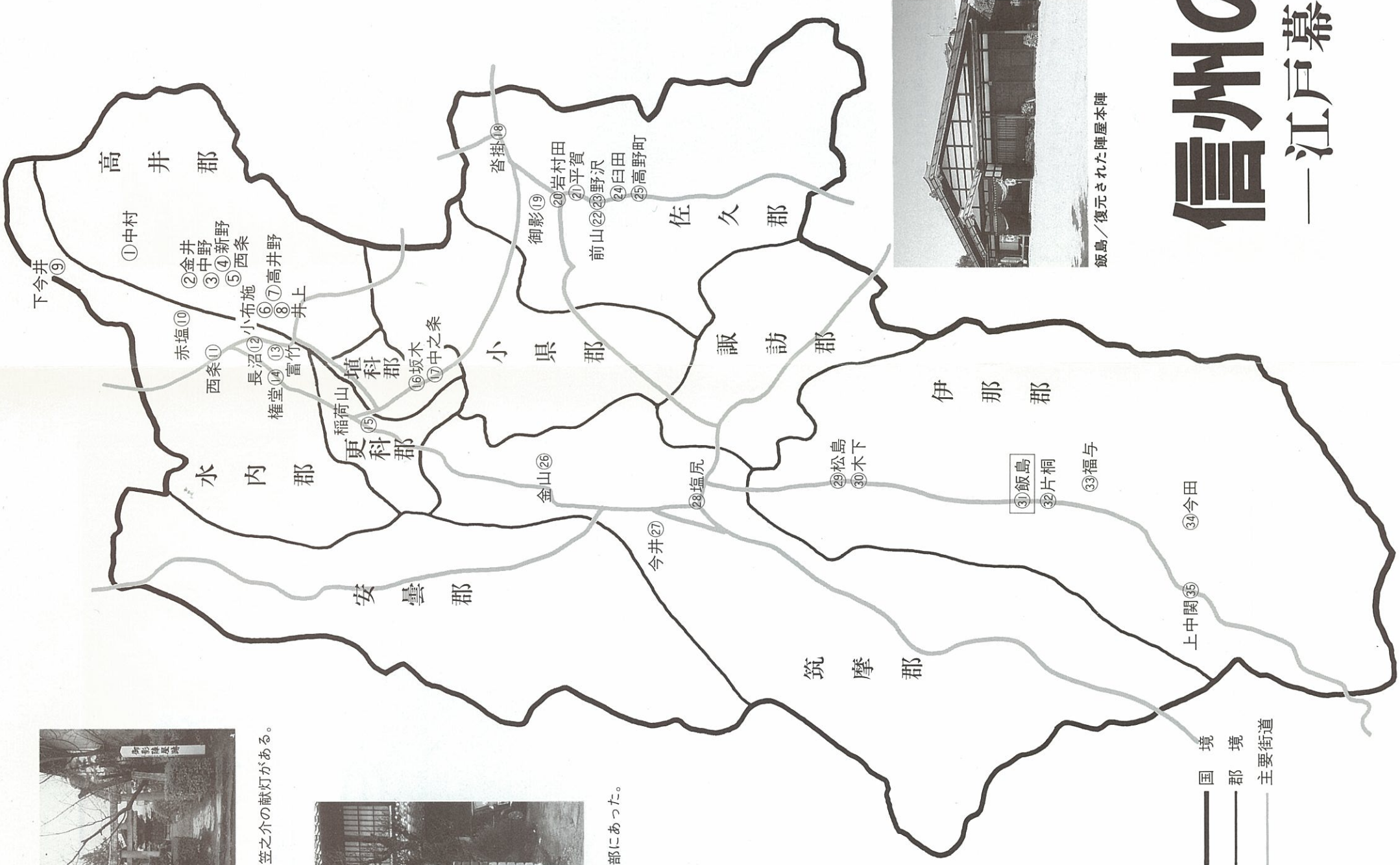
片桐/陣屋跡
飯田藩の御茶屋御殿から、幕府領の陣屋に引き継がれた。



御影/陣屋稲荷
飯島代官も動めた藁笠之介の献灯がある。



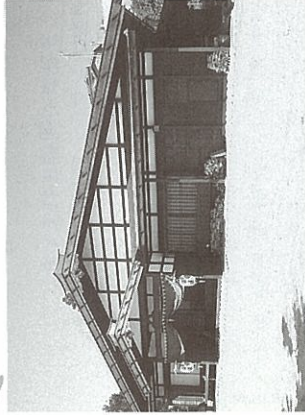
塩尻/陣屋跡
中山道塩尻宿の中心部にあった。



信州の幕府直轄領（天領）は、伊那と木曽の家康蔵入地に始まり、その後各地で大名・旗本が取り潰されたり領地を移動されたりする中で増加していった。江戸中期以降はおおよそ20万石、信州全体のおおよそ3割が幕府領となっていた。

陣屋は、この幕府領を支配するための施設である。代官の指揮の下、手代・手付と呼ばれる役人たちがここで実務に当たっていた。

江戸時代中期までの陣屋は、農家陣屋・仮陣屋といった臨時的な簡素なものも多く、明確でないものもある。中期から後期にかけては各地の陣屋の統合が進み、伊那地域では飯島、北信北部では中野、北信南部では中之条、東信では御影の4か所にそれぞれ吸収されていった。



飯島/復元された陣屋本陣

陣屋の存在期間

No	郡	陣屋名	現所在地	1600	1700	1800	1868
1	高	中村	木島平村	1623 1639	1709 1710		
2		金井	中野市	1624 166?			
3		中野	中野市	1615 1619 1650 1682	1703 1700 1724		1868
4		新野	中野市	1624	168?		
5	井	西条	中野市		1701 1715		
6		小布施	小布施町	1615 1638 1619 1661			
7		高井野	高山村	1631	1661		
8		井上	須坂市				
9	水	下今井	飯山市		1717 1720		
10		赤塩	三水村		1717 1720		
11		西条	長野市		1763 1768		
12		長沼	長野市	1689 1711	1754 1763		
13	内	富竹	長野市		1740 1754		
14		権堂	長野市		1717 1720		
15	更	稲荷山	更埴市				
16	埴	坂木	坂城町		1703 1760		1868
17	科	中之条	坂城町		1770		
18	佐	沓掛	軽井沢町	1639 1703			
19		御影	小諸市		1706 1749		1868
20		岩村田	佐久市	1689 1703			
21		平賀	佐久市	1661 1715 1725	1725		
22	久	前山	佐久市	1689 1723 1743 1785			
23		野沢	佐久市	1701 1722			
24		臼田	臼田町	1701 1711			
25		高野町	佐久町	1722 1725			
26	筑	金山	四賀村	1616 1638	1689 1713		
27		今井	松本市	1691 1713			
28	摩	塩尻	塩尻市		1733 1743		
29		松島	箕輪町		1772 1775		
30	伊	木下	箕輪町	1672 1699 1682 1720			1867 1868
31		飯島	飯島町				
32		片桐	松川町	1672 1677	1749 1756		
33		福与	松川町				
34	那	今田	飯田市	1684	1722	1754 1763	
35		上中関	阿智村		1762 1770		

※——は幕府代官の陣屋は松本藩預所の陣屋
※幕府領の代官陣屋としての存在期間を示したので、大名・旗本の陣屋は含まない。

信州の陣屋マップ

—江戸幕府直轄領の代官陣屋—

(西沢淳男先生に御指導をいただきました。)